

課題名	リン酸施用量とミカンの生育、収量、品質
成果の要約	<p>生育、収量、品質のいずれについても、リン酸多施用の効果は認められなかった。</p>
成績概要	<p>コンクリート枠（1辺2m、深さ1m）に4種類の土壌を充てんし、昭和43年から施肥処理を行ってきた標準区と、リン酸2倍量区のミカン樹について調査した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幹周の年間増加量、収量ともに、土壌種類の違いや、リン酸施用量の多少による影響は明らかでなかった。 2. 果実品質のうち、酸含量は安山岩質火山灰土壌が他の3土壌より高かったが、何れの土壌でもリン酸施用量の多少による違いは小さく、また糖度や、着色状態などについても、リン酸多施用による品質向上効果は認められなかった。 3. 葉中のリン酸含量は、結晶片岩土壌と第三紀層土壌が他の2土壌よりやや高かったが、リン酸施用量の多少による違いは何れの土壌でも小さかった。

第1表 生育, 収量, 果実品質, およびリン含量

処理区	項目	幹周の 年間増 加量 (cm)	収 穫 果 実					葉 中 リン酸 P (%)
			収 量 (Kg/樹)	1果平 均重 (g)	糖 度 (アッペ)	酸含量 (g / 100ml)	8分着 色以上 の割合 (%)	
標 準 区	安山岩質火山灰土壌	2.5	50.8	109	11.8	1.32	47	0.16
	玄武岩土壌	1.2	49.5	119	10.8	1.16	44	0.16
	結晶片岩土壌	1.4	52.5	112	10.8	0.98	57	0.18
	第三紀層土壌	1.4	60.5	119	10.4	1.12	15	0.18
リ ン 酸 2 倍 量 区	安山岩質火山灰土壌	1.4	47.9	107	10.6	1.26	40	0.16
	玄武岩土壌	1.5	57.1	114	10.5	1.00	53	0.18
	結晶片岩土壌	1.7	45.3	107	11.5	0.99	7	0.19
	第三紀層土壌	1.9	55.5	109	10.8	1.12	20	0.18

成

績

概

要